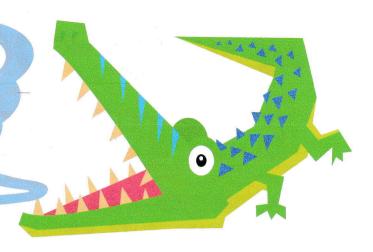


正しくかむ習慣を身につけよう!



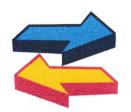


硬性ガムによる咀嚼トレーニングは咀嚼機能の向上と咀嚼改善による歯列幅の増加に効果があり、成長期 の児童において叢生を予防する効果が期待できるといえます。また、叢生治療において抜歯による治療か ら歯列拡大(非抜歯)による治療へと対応に変化が見られると考えられます。

つまり、咀嚼トレーニングは歯列成長促進と咬合の適応力の向上に有効であると考えられます。

(A)歯並びの良いタイプ

あごを横に動かして すりつぶして食事をしている人



(B)歯並びの悪くなりやすいタイプ

あごを上下に動かすだけで 食事をしている人

